

LS13地方

受験番号

2013年度 甲南大学法科大学院入学試験問題

## 専門論文試験 商法

(60分)

### 受験についての注意

1. 試験開始の合図があるまで問題冊子を開いてはならない。
2. 問題は1ページのみである。印刷不鮮明、汚損等があれば申し出ること。
3. 解答用紙は1枚である。解答用紙には裏面もあるので注意すること。
4. 答えは、横書きとする。
5. 答えは、実線内の番号に従って書き進めること。
6. 答えは、黒ボールペンまたは黒インクの万年筆で記入すること。これら以外で記入された答えは、無効となる。
7. 答えを訂正するときは、訂正部分が数行にわたる場合は斜線で、1行の場合には横線で消して、その次に書き直すこと。
8. 下書きには、問題冊子の余白を適宜利用すること。
9. 問題冊子は必ず持ち帰ること。

## 専門論文試験 商法

以下の文章を読み、設問に答えよ。

### 【事実】

東京証券取引所に普通株式を上場する P 株式会社(以下、P 社という)は、2012年6月25日に定時株主総会を開催した。会議の目的事項は、以下のとおりである。

「報告事項」第〇〇期事業報告の内容及び計算書類の内容報告の件

「決議事項」

第1号議案 剰余金処分の件

第2号議案 取締役5名選任の件

株主総会当日、総会の議長である P 社の代表取締役 A は、目的事項を説明した後に、審議に入り、会場から説明を受け付けることとした。P 社の業績に不満を持つ株主 X は、報告された事業報告の内容に関連して、取締役に説明を求めたが、A はとりあわず、それに抗議する X との間で、数分間やりとりが続いた。やむなく X は不満を述べつつも、第1号議案について会社提案の1株あたり30円配当ではなく、60円の配当を提案した(かりに60円配当を行っても、会社の分配可能額の範囲内であることとする)。A が第1号議案について、会社提案の30円配当の採決を求めたところ、賛成多数で可決されたため、X の提案の採決は行われなかった。ついで、第2号議案の審議に移ったが、A はすべての質問に丁寧に対応し、すべての候補者の選任議案が賛成多数で可決された。ところが、5名の役員候補者(B,C,D,E,F)のうち、F はかつて別会社の経営者として特別背任罪(会社法960条)で有罪判決(確定)を受け、執行猶予中の身であることが判明した。

〔設問〕 P 社株主総会決議にはいかなる瑕疵があるか、説明せよ。